

あさひば

秋津 桜木 桜木東 若葉

★「あさひば」は、秋津まちづくりセンター管轄地域の愛称です。
あ秋津、さ桜木、ひ桜木東、ば若葉だより
6月号

地域情報版

熊本市配布文書第20号

令和6年（2024年）5月15日発行

発行者：秋津まちづくりセンター・公民館

熊本市東区秋津3丁目15-1電話368-2200

akitsumachizukuricenter@city.kuma

moto.lg.jp

災害に備えよう～日ごろからできること～

これから梅雨の時期を迎えます。地震などの突発的な災害は、予測ができませんが、大雨や台風などは事前に避難するなど、備えることができます。大雨や台風の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の中の備え

◇非常用品の確認

懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池）、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など

◇室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

◇水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



避難場所の確認など

◇学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。

◇普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。

◇避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

非常持ち出し品を用意しましょう

以下は非常持ち出し品の一例です。

- ・リュックサック
- ・飲料水、乾パンやクラッカーなど、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、哺乳ビンなど
- ・救急医薬品、常備薬、マスク、紙おむつ、生理用品
- ・現金（小銭も）、預金通帳など、印鑑、健康保険証など、身分証明書
- ・下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴
- ・ナイフ、缶切、鍋や水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュなど、筆記用具、ゴミ袋
- ・防災頭巾やヘルメット、予備の眼鏡など、地図

地域の魅力発見!

地域担当職員が地域を歩いて、「見て、聞いて、発見した」地域の魅力を発信していきます!

【若寿会いきいきライフ春の集い】

卓球のラケットを使った、ボール渡しゲームや輪投げをして会場は笑いがあふれていました。最後には、ハモラズ(結成12年平均年齢80以上)と声を出して歌い、モノマネで多いに笑い、盛り上がった若寿会でした。



【秋津1町内 炊き出し】

秋津1町内では、熊本地震で繋がりができた方たちが毎年集まりボランティアで炊き出しを実施されています。遠い方は福島県から熊本にいられていましたが、この日はたくさんの方々が参加



されていて、最後にはこの炊き出しで集められた義援金の贈呈式もありました。

【若葉いきいきサロン】

参加者も一緒になって運動をしたり、歌やジャズダンスも披露され、会場は一体となってとても盛り上がりました。また、地元若葉出身のインストラクターによる健康ミニ講座では筋肉維持の重要性を教えてくださいました。



【秋津3町内 地域コミュニティ食堂0nn+】

初めての開催となった地域コミュニティ食堂では、フードバンクでいただいた食材や地域の方々を持ち寄せられた食材でカレーを振舞われていました。カレーを食べた後は、こどもたちにお土産も準備されていて、みんなで楽しそうに選んでいて大盛況でした。



熊本地震の記憶を未来へ紡(つむ)ぐプロジェクト

避難後の連絡先求め 一日中駆けずり回る

熊本市70代自治会長男性

自分は自治会長だから、色々と相談を受けるのですよ。地震の時も「隣の家のブロック塀が自分の家の壁に当たって部屋まで入ってくる。隣がおらんからどこに連絡すればいいかわからん」と相談を受けました。雨が降ったら大変だし早くなんとかせんといかん。だからといって

勝手にはできんでしょ。でも、連絡の取りようがない。避難先を知るのに一日中駆けずり回ることになりましたよ。隣の人でも誰でもいいから、どこにいるか、避難後の連絡先をせめて近所の人に教えてから避難してもらいたいですね。

熊本地震の体験から導き出される教訓や、身につまされるお話を集めたエピソード集を作成し、熊本市のホームページに掲載しています。ご覧ください。



熊本市ホームページ